

2024年1月31日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗



東洋大学との共同研究の開始

～ 中小企業経営者のエンゲージメントが会社経営に与える影響を明らかに ～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、学校法人東洋大学（理事長：安齋 隆）とともに「中小企業経営者のエンゲージメントが会社経営に与える影響」に関する共同研究を開始しました。

我が国では中小企業が全企業数の99.7%を占め、経済・産業構造を支える重要な役割を担っています。一方、外部環境の変化が著しい現代において、中小企業が抱える経営課題は多様化・複雑化しており、経営者の責任・負担がますます大きくなっているのが実態です。

そうした中、中小企業経営者のワーク・エンゲージメント*が会社経営に与える影響に関する調査・研究はこれまでになく、経営者が抱えるストレス等が会社の経営・成長にどう影響するのかは、明らかになっていません。

*ワーク・エンゲージメント：仕事に対し、ポジティブで充実した心理状態で取り組むこと。

今回の共同研究は、これまで中小企業の経営論等に関する論文を多数公表されている山本 聡 氏（東洋大学経営学部教授）との協働により、中小企業経営者のワーク・エンゲージメントの実態を明らかにし、会社経営に活かしていただくことを目的としたものです。

今回の共同研究を通じ、中小企業が抱える幅広い社会課題の解決に貢献するとともに、中小企業の持続的発展を通じた「持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。

<共同研究の概要>

テーマ	中小企業経営者のエンゲージメントが会社経営に与える影響
主たる研究者	やまもと さとし 山本 聡 氏（東洋大学 経営学部経営学科 教授）
研究内容	・大同生命と東洋大学が共同で「中小企業経営者のワーク・エンゲージメント」の実態把握に向けた調査を実施。 ・調査結果をもとに、「中小企業経営者の事業継続と働きがい」に関する学術上の知見と、導き出される実務上の示唆・提言を、研究成果として幅広く発信。

以上